



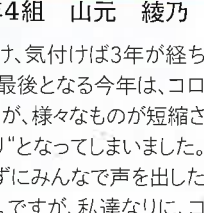
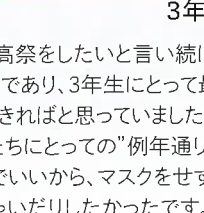
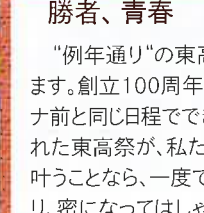
2-2 バルーンパーティー



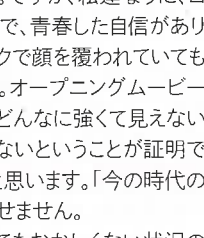
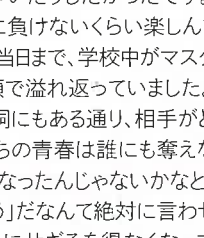
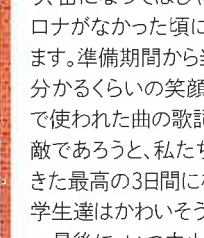
2-1 おばけなんてないさ



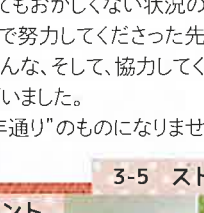
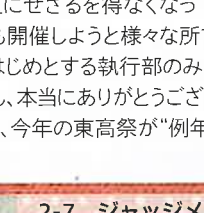
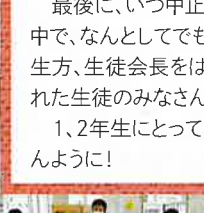
2-3 vs 2-3 キッキングスナイパー



2-4 Kカード



2-5 vs5組 ~ バンクボーリング ~



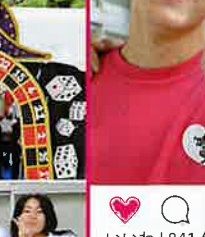
2-6 USJ~ユニバーサルSUMIDAジャパン~



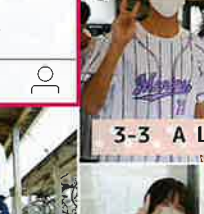
3-6 TO-RE



3-7 CASINO7



3-1 夢の国へようこそ



3-4 パシャパシャの実



3-3 A Lottery that is sure to win



## 勝者、青春

3年4組 山元 綾乃

“例年通り”の東高祭をしたいと言い続け、気付けば3年が経ちます。創立100周年であり、3年生にとって最後となる今年は、コロナ前と同じ日程でできればと思っていましたが、様々なものが短縮された東高祭が、私たちに“例年通り”となってしまいました。叶うことなら、一度でいいから、マスクをせずにみんなで声を出したり、密になってはしゃいだりしたかったです。ですが、私達なりに、コロナがなかった頃に負けにくいくらい楽しんで、青春した自信があります。準備期間から当日まで、学校中がマスクで顔を覆われていても分かるくらい笑顔で溢れ返っていました。オープニングムービーで使われた曲の歌詞にもある通り、相手がどんなに強く見えない敵であろうと、私たちの青春は誰にも奪えないということが証明できた最高の3日間になったんじゃないかなと思います。「今の時代の学生達はいかにかわいそう」だなんて絶対に言わせません。

最後に、いつ中止にせざるを得なくなってもおかしくない状況の中で、なんとしても開催しようと様々な所で努力してくださった先生方、生徒会長をはじめとする執行部のみんな、そして、協力してくれた生徒のみなさん、本当にありがとうございました。

1、2年生にとって、今年の東高祭が“例年通り”のものになりましたように！

3-5 ストラックアウトにとりつけるか



いいね! 841件  
#勝たんしか俺ら!! #スツ友 #青メッシュ  
#髪染めてみたw #クラスT #ldk



# 東高祭

2022.9.9 金

3日目

1年女子 徒競走



1年男子 徒競走



3年女子 徒競走



3年女子 キングサイズボールレース



1年 借り人競争



HR対抗リレー 3年



HR対抗リレー 2年



HR対抗リレー 1年



鳥取東高通信 No.191 10



大会役員のみなさん



東高祭を開催できて、思ったこと 2年2組 三好 優智

僕が1年生だった時と同じ様に、コロナ感染対策の為、規模を縮小した東高祭となりました。マスクを着用する、飲食を伴う模擬店は中止など色々な感染対策として様々な制限がありました。そんな中僕が思ったのは、東高生はピンチに強いという事です。

初日にあった合唱も無くなり、模擬店やクリエイションにも制限がありました。しかしそんな中でも、東高祭は大成功しました。企画書を最初から作り直したり、クラス演技では音声にCDに録音するなど色々大変な事もありました。その中でもどのクラスも、担当者だけでは無くクラス全員が一丸となる事で素晴らしい物が出来ました。また3日目の体育祭も制限はあり、種目は少なくなりましたが応援が響き、クラスの団結力が大きくなったと思います。今年の東高祭も最高でした。来年はもっと最高のものになるだろうと今から楽しみです。

2年男子 クールな宅急便



3年 運命共同体



2年 She is a lifesaver



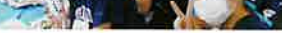
2年男子 ウルトライズ



2年女子 玉入れGO!!



1年 障害物リレー



2年女子 徒競走



3年男子 徒競走



2年男子 徒競走



1年 二人三脚リレー



2年男子 徒競走



2年女子 徒競走



1年男子 徒競走



2年男子 徒競走



2年男子 徒競走



2年女子 徒競走



3年男子 徒競走



1年 障害物リレー



2年男子 徒競走



2年女子 徒競走



1年男子 徒競走



2年男子 徒競走



2年女子 徒競走







### 笑顔溢れた東高祭 1年2組 寺谷 麗音

皆も私自身もとても楽しみにしていた東高祭が行われた。コロナ、台風、雨、とさまざまな心配事があったが無事に開催され、嬉しく思う。1日目のクラス演技や各部活での発表は、それぞれの個性や工夫が見られたものだった。会場は、笑いや悲鳴、歓声が飛びかい盛りあがった。2日目は各クラスの特徴が目立ちそれぞれ違ったもので施されており、私も含めたくさんの人が楽しめたと思う。そして3日目の体育祭。全員が全力で競技した。見ている側もしている側も団結し、取り組みれたと思う。

準備期間も合わせたこの東高祭で、普段の生活からは得ることの難しい経験ができた。多くの人、多くの場面で東高全体に笑顔があふれた学校祭。皆の思い出にまた一つ良いものとして刻まれたと思う。ここから得ることができたことを無駄にしないよう今後に役立てていきたい。



台風の日 縦割対抗団体

水泳部

陸上部女子

バスケットボール部

バレーボール部

陸上部男子

野球部

部活対抗リレー

柔道部

書道部

バドミントン部

テニス部

弓道部

ボート部

卓球部

吹奏楽部

サッカー部男子

サッカー部女子

ソフトテニス部



# 第64回 中国・四国地区高等学校PTA連合会大会 愛媛大会 笑媛(えひめ)から始まる絆づくり ～ 無限の可能性を秘めた子どもと共に ～



令和4年7月26日(火)に第64回中国・四国地区PTA連合会大会が愛媛県にて開催され、参加して来ました。

記念講演には「今治からの挑戦！」を演題に四国サッカーリーグFC今治の運営会社CEO岡田武史氏が登壇されました。

サッカー元日本代表監督など、指導者として第一線で活躍された岡田氏が経営者に転身し、スポーツを通じて社会貢献、地方創生に尽力される想いを熱く語られました。志の高さと行動力にリーダーとしての魅力が感じられる講演でした。

研究協議では、山口県立山口中央高校PTA、香川県立農業経営高校PTA、愛媛県立新居浜高校PTAより地域と連携した活動が報告されました。内容としては、学校運営協議会と協力し「高校生熟議」と題した地域、生徒との意見交換の場が設けられていたり、学校祭にPTAがボランティアとして参加し地域と学校の架け橋役を担っていたりとPTAとして積極的な地域、学校との関わりがありました。

高校生による発表では、「愛媛県内の高校魅力化の取り組み」と題して、弓削(ゆげ)高校、三崎高校、野村高校、北宇和高校の生徒たちが自ら各学校の魅力を写真等を用いて発表しました。魅力発信として、生徒自らラジオ出演、地域との連携、アットホームな環境作り、YouTube配信、駅周辺賑わいプロジェクトの他にもホームページでの発信など多岐にわたる魅力の発信があり、とても興味深く有意義な時間となりました。

最後に、会場までタクシーで移動中、通学時のヘルメット着用率の高さに驚きました。調べてみると愛媛県の着用率は全国1位、県立高校に至っては、100%に近い着用率を実現しているそうです。その秘訣は義務化と無償化に加え、デザイン性とのことですが、愛媛県民の安全意識の高さもあるのではないのでしょうか。  
(PTA副会長 林 美保子・澤 享)

## 研修部

### 保護者のための大学訪問

過去2年コロナ禍で企画しても中止になっていた保護者のための大学訪問を、感染対策を図り、鳥取大学(8月20日)と鳥取環境大学(9月3日)の2校で行いました。

鳥取大学訪問は参加希望が多く、3年生の保護者に限らせていただきました。鳥取大学は、鳥取大学乾燥地研究センター(アリドーム)を見学した後、湖山の鳥取大学へ移動し、元鳥取東高校校長の尾室先生に鳥取大学の特徴や教育方針などを説明いただきました。地方大学の力が感じられ、私がこれまで地方大学に抱いていたイメージが変わるほどの良い内容だったと思います。



鳥取大学アリドーム

鳥取環境大学は、希望者皆様に参加していただくことができました。鳥取東高OBの学生に学生生活や学校活動等について講演いただきました。生徒にも参加いただいたので、年の近い方からの講演で参考になったと思います。

また、鳥取環境大学岩田先生から学部の特徴について説明いただき、国公立大学で環境学部があるのは鳥取環境大学のみと説明がありました。SDGsが頻繁に謳われるなか、注目されるべき大学と思いました。

(研修部部長 衣笠伸一郎)



鳥取環境大学

## 研修部

### 保護者のための進路セミナー

3年ぶりくらいで対面での保護者のための進路セミナーを、学年毎に開催しました。

3年生保護者向けには、(株)ベネッセコーポレーション中四国支社の和田氏を講師に迎え7月5日に開催しました。



3年生進路セミナー

これまで、知識を問う入試内容だったものが、知識をどう活用し考えることができるかを問う入試に変わっている等、今年度入試の特徴について、講演いただきました。

また、「成績上位者は保護者との対話が多い」といった、保護者と受験生のかかわり方等もお話ししていただき参考になりました。

2年生保護者にも聞いていただきたい内容であり、和田氏を迎え11月24日に2年生保護者進路セミナーを開催します。

1年生保護者向けには、1年生の先生方に令和7年度入試や今後の進路指導についてお話ししていただきました。

参加した方から、「新しい情報が聞けて良かった」「受験が複雑化していく中で、理解が深まった」等の意見を頂きました。



1年生進路セミナー

研修部は、今後も進路に対して保護者のモヤモヤが少しでも解消できるよう活動していきます。

(研修部部長 衣笠伸一郎)

## ☆ ひさしぶりの講演会開催 ☆

### 健康・生活部

今年度は『生活習慣を整えて笑顔を増やそう』というテーマで活動しています。それを踏まえ10月23日(日)13時30分よりコモンホールにて「今日から実践！～免疫力と集中力を高める食事と運動～」と題し、講演会を開催しました。講師にFitness Ja-んぐる代表 澤品子さんと同インストラクター

宮脇奈緒子さんをお迎えして、生活習慣を整える大切な3つの柱、運動・食事・睡眠の中から特に食事と運動についてお話いただきました。

食事については、普段の食事に何を足すとバランスが良くなるのか、あるいは何をどう摂れば集中力があがるのかなどのお話でした。メモを取りながら聞いてくださっていた方もいらっしゃいました。

続いての運動は、出席していただいた皆さんでヨガの実践でした。ご自宅に帰ってからお子さんたちと一緒にできる3つのポーズを体験。ポーズから元の姿勢に戻った時、さ～と流れる血流を感じることが出来ました。

ここ数年、コロナ禍で開催出来なかった講演会が出来た喜びと、参加者の方々からとても良かったと感想をいただき、大変嬉しく思いました。寒くなるこの先の時期、コロナやインフルエンザに負けないためにも、今日の講演が活かされると幸いです。ご参加いただきました皆さん、ありがとうございました。

(健康・生活部部長 柴田 詩緒)





## 野球部

夏の大会ベスト4おめでとう。昨夏の準々決勝・準決勝は残念ながらコロナで球場に入ることができなかったけど、今年は4試合全て間近で応援させてもらって、何回も校歌を聞けて本当に幸せでした。そして、一瞬でしたが「甲子園」という夢を見させてくれてありがとう。指導者の方々や2グラとともに切磋琢磨したかけがえのない仲間たち、そして大会開催のため尽力してくださった多くの皆さんへ、感謝の気持ちを持ち続けてください。さあ、今度は個人プレーになるけれど、高校野球で学んだあきらめない心を胸に、次なる目標に向かってもうひと踏ん張りだ!! (硬式野球部3年生保護者一同)



## 将棋同好会

近畿高等学校総合文化祭出場おめでとう。昨年度と比べると活躍は目を見張るほどの成長ぶりです。今年度は頼もしい一年生の入部があり、良い刺激をもらっているようで嬉しいです。将棋には、粘り強く考察する力や集中力を磨くなど多くの魅力があります。将棋で身についたものは、社会に出て必ず役立つと思います。これからも長く楽しく続けられることを願っています。(保護者 伊藤千春)



## 書道部

パフォーマンスはしたくないです。作品制作だけでもいいですか?と言って入部しましたが、すっかりパフォーマンスの魅力にハマリ、部活動を通して成長しましたね。3年生は2人だけでしたが、数々のパフォーマンスを見せてくれました。いつも感動をありがとうございます!支えてくださった先生、先輩、後輩にも感謝です。今後の成長も楽しみにしています!(書道部3年生保護者一同)



## 生徒会執行部

憧れの東高に入学して毎日楽しく過ごしている。部活と友達それが全て。そこへきて生徒会に入るという。みんながもっと楽しいと思う学校にする、大好きな友達と学校だからこそ、頑張れるのだと。決してズバ抜けた何かがある子でもない。ただ親としては、最後までやりきる力だけは育ててきたつもりだ。たくさんの方に教えていただき、支えていただき自分がいるという事を忘れず、今しかできない事をやりきれ!! (三好優智の母)



## 吹奏楽部

コロナに翻弄された日々、それでも前を向いて自分にできることを頑張ってきた皆さん。3年生は後輩の鏡となり、1、2年生は先輩の頼もしい姿を見て気持ちを一つにし、部活に励んできたと思います。コンクール金賞、中国大会出場という目標も叶いました。部活を通して経験したことと感じたことは、これからの人生の糧になります。今後も熱い思いを胸に、一步一步、歩んでください。(保護者)



## 文芸部

文芸部は、年に一度の部誌とその準備が主な活動なので、コロナの影響はほとんどなかったように思います。文化祭の前、部誌作成の時だけ、毎年大変そうでした。努力、というよりも活動を楽しめる子達の部活。という感じです。今年はいままでより集会の回数を増やして活動していたようです。みんなで愉しんで高め合える部活で、これからもあってほしいです。(矢原ゆらの母)



## 茶道部

東高に入学して、早一年半経ちましたね。当初、「部活動は、何に入るのかな?」と、気になりましたが、選択したのが茶道部でした。部活から帰り、楽しそうに、その時の事を話す姿から充実感が伝わります。部活を通して、人と知り合い、様々な事を学び、これからの未来に役立っていく事でしよう。(保護者 岡嶋いずみ)



## 部落解放研究部

コロナ禍と共に始まった高校生活。いろいろな制限の中での活動であったと思いますが、ここで学んだ事を、これから歩む道で生かしてください。3年間、お疲れさまでした。(保護者)



## 華道部





# 全国大会 入賞者の言葉

## 全国高校総体

レスリング女子74kg級 3位 1年4組 中野 咲羅

今年のインターハイは3位という悔しい結果に終わりました。全国の舞台に立ち、改めて勝負の世界の厳しさを知れました。来年は、今年の悔しさをバネに優勝できるよう頑張ります。また、私は柔道部にも所属しています。二つのスポーツを両立することは、とても大変ですが、レスリングも柔道もさせてもらえることに感謝し、両方とも一生懸命頑張ります。そして常に楽しむことを大切にしたいです。



## 国民体育大会

陸上 少年男子800m 5位 3年7組 國森 郁光

まず、この場をお借りして、応援してくださったみなさんに感謝を言いたいと思います。

多くの生徒が6月で部活を終え、勉強に集中する中で、部活と勉強を両立することはとても大変でしたが、この経験は、今後も自分にとても役立つものになると思います。受験においてもスポーツにおいても悔いなくよい結果を出せるように、これからも努力し続けたいと思います。



## □柔 道

鳥取県高等学校柔道新人戦(10/15~16)

男子団体	3位	中国大会出場
女子団体	3位	中国大会出場
男子60kg級	三好 優智(2-2)	2位
男子66kg級	澤田 睦月(2-3)	優勝
男子73kg級	上田 晃生(2-6)	4位
男子81kg級	松岡 大智(2-1)	2位
女子70kg級	中川 香乃(2-2)	3位
女子78kg級	中野 咲羅(1-4)	優勝
第23回中国高等学校柔道新人大会(11/12~13)		
男子団体	予選リーグ敗退(1勝2敗)	
女子団体	予選リーグ敗退(1勝2敗)	

## □ビームライフル

第6回鳥取県高校ライフル射撃競技新人大会(10/16)

女子エアライフル60発	霜里 風花(2-6)	5位	中国大会出場
女子ビームライフル60発	霜里 風花(2-6)	3位	中国大会出場
女子ビームピストル60発	岡村 梨央(2-4)	優勝	中国大会出場
女子ビームピストル60発	田中 麗(1-5)	2位	中国大会出場
男子ビームライフル60発	山本 凌大(2-6)	2位	中国大会出場
男子ビームピストル60発	山口 慧(2-5)	4位	中国大会出場
男子ビームピストル60発	岡本 歩(2-2)	5位	中国大会出場
男子ビームピストル60発	松本 悟志(2-2)	6位	中国大会出場

第7回中国高等学校ライフル射撃競技新人大会(11/6)

男子ビームライフル60発	山本 凌大(2-6)	13位
男子ビームピストル60発	山口 慧(2-5)	11位
男子ビームピストル60発	松本 悟志(2-2)	13位
男子ビームピストル60発	岡本 歩(2-2)	16位
女子エアライフル60発	霜里 風花(2-6)	5位
女子ビームライフル60発	霜里 風花(2-6)	16位
女子ビームピストル60発	岡村 梨央(2-4)	10位
女子ビームピストル60発	田中 麗(1-5)	12位

## □サッカー

第101回全国高校サッカー選手権鳥取県大会(10/15~23)

男子 ベスト4	
第31回全日本高等学校女子サッカー選手権大会鳥取県予選会(10/15~16)	
女子 ベスト4	
第57回鳥取県高校サッカー新人大会(11/11~13)	
男子 3回戦進出	女子 3位

## □バドミントン

鳥取県高校新人バドミントン選手権大会(11/11~13)

男子団体	ベスト8	準々決勝進出
女子団体	ベスト8	準々決勝進出
ダブルス男子	西川 創太(2-3)・徳中 漣(2-2)	1回戦敗退
	山根 稜平(2-6)・太田 直希(2-4)	2回戦進出
	小林 正人(2-4)・岡本 明(1-1)	2回戦進出
	中村 勇希(2-6)・澤 享真(1-2)	1回戦敗退
	谷口 瑞季(1-1)・高木 眞吾(1-7)	2回戦進出
ダブルス女子	池本 さえ(2-5)・宮本 花夏(1-6)	ベスト8
	瀬奈(2-2)・山下 詩帆(1-2)	ベスト16
	杉本 琴奏(2-1)・中本 真桜(2-2)	2回戦進出
	水田 瑛結(2-1)・有松 美羽(1-3)	1回戦敗退
	尾崎 優那(1-1)・谷口晴菜乃(1-1)	2回戦進出
シングルス男子	西川 創太(2-3)	2回戦進出
	山根 稜平(2-6)	ベスト16
シングルス女子	池本 さえ(2-5)	2回戦進出
	宮本 花夏(1-6)	ベスト16
	山下 詩帆(1-2)	1回戦敗退

## □弓 道

第64回鳥取県高等学校弓道新人大会(10/23)

男子団体	尾崎 蒼太(2-2)・宮脇 遥規(2-5)・谷口 博一(2-6)	5位 中国大会出場
男子個人	谷口 博一(2-6)	11位 中国大会出場
第30回中国高等学校弓道新人大会(11/18~20)		
男子団体	安養寺煌明(2-5)・宮脇 遥規(2-5)・谷口 博一(2-6)・北條 晴也(2-7)	予選敗退

## □ボート

第77回国民体育大会中国ブロック大会(7/16~17)

少年女子舵手付きワオドルプル鳥取県選抜	細谷 和夏(2-3)・前田 明星(2-4)	優勝 本国体出場
第34回全国高等学校選抜ボート大会鳥取県予選会(10/21~22)		
男子舵手付きワオドルプル	中谷 将也(1-1)・森尾 翼(2-4)・西山 佳汰(1-6)・高橋 創志(2-5)・西川 仁将(1-1)	優勝 中国大会出場
女子舵手付きワオドルプル	谷口 晴(2-7)・細谷 和夏(2-3)・前田 明星(2-4)・中村 沙希(1-5)・池ノ内 花江(2-1)	優勝 中国大会出場
男子ダブルスカル	原田 優(2-5)・毛利 芭奈(2-6)	2位
男子ダブルスカル	福本 健太(1-1)・大北 春輝(1-3)	3位
女子シングルスカル	尾崎 愛奈(2-2)	2位
第34回全国高等学校選抜ボート大会中国地区予選会(10/29~30)		
男子舵手付きワオドルプル	中谷 将也(1-1)・森尾 翼(2-4)・西山 佳汰(1-6)・高橋 創志(2-5)・西川 仁将(1-1)	準優勝 全国大会出場
女子舵手付きワオドルプル	谷口 晴(2-7)・細谷 和夏(2-3)・前田 明星(2-4)・毛利 芭奈(2-6)・原田 優(2-5)	優勝 全国大会出場

## □ソフトテニス

第58回鳥取県高等学校ソフトテニス新人戦(10/29~30)

男子団体	準優勝	中国大会出場
女子団体	3位入賞	中国大会出場
鳥取県高等学校選抜ソフトテニス大会(11/16)		
男子団体	3位	中国新人大会2年連続出場
松原 光汰(2-1)、田中 倫多(2-4)、星見 知希(2-5)、田中 一光(2-6)、 柄 武之介(2-6)、原 央祐(2-6)、西垣 友陽(2-7)、義仲 遼大(2-7)		
女子団体	3位	中国新人大会2年連続出場
出井 未侑(2-1)、砂田 夏希(2-4)、米井 千咲(2-4)、高田 夢奈(2-5)、 前田 水郷(1-2)、山根 妃菜(1-3)、谷口 乃唯(1-5)、大樫 美侑(1-6)		

## □剣 道

鳥取県高等学校剣道新人戦(11/12~13)

男子個人	西村 孝介(1-3)	1回戦敗退
女子個人	井上 満愛(1-3)	1回戦敗退

## □レスリング

鳥取県高等学校レスリング新人大会中国選抜大会鳥取県予選(11/3)

女子74kg級	中野 咲羅(1-4)	優勝 中国大会出場
---------	------------	-----------

## □吹奏楽

全日本吹奏楽コンクール鳥取県大会(7/29)

高校Aの部	金賞 中国大会出場
全日本吹奏楽コンクール中国大会(8/22)	
高等学校の部	銅賞

## □放 送

鳥取県高等学校総合文化祭放送部門(11/8) 出場

## □書 道

第2回全国高等学校書道パフォーマンスグランプリ東中国大会(11/12)

3位
----

## □邦 楽

第42回近畿高等学校総合文化祭日本音楽部門(11/25) 出場

## □将 棋

第31回全国高等学校文化連盟将棋新人大会鳥取県予選(11/3)

男子個人	春井 翔太(1-6)	3位 中国大会出場
	伊藤 侑平(2-5)	5位 中国大会出場
第42回近畿高等学校総合文化祭将棋部門(11/25~27)		
男子団体	伊藤 侑平(2-5)・田原 志桜(2-4)・津田 陽斗(2-6)	
○予選リーグ	1勝1敗	
○決勝トーナメント進出決定戦	県立桐蔭(和歌山)	3-0
○決勝トーナメント1回戦	東大寺学園(奈良)	0-3
男子A級個人戦	春井 翔太(1-6)	予選リーグ敗退



# 運動部・文化部等の大会報告

## 全国大会出場

### 陸上競技

第77回国民体育大会(10/6~10)

・男子800m 國森 郁光(3-7) 5位

### ボート

全国高等学校総合体育大会ボート競技(8/14~19)

・女子舵手付きクワドルブル 棄権

第77回国民体育大会(10/1~4)

・少年女子舵手付きクワドルブル鳥取県選抜

細谷 和夏(2-3)、前田 明星(2-4) 準決勝進出

### ビームライフル

全国高等学校総合体育大会ライフル射撃競技会

・男子団体ビームライフル 30位

山下 光貴(3-1)、濱田俊太郎(3-6)、山本 凌大(2-6)

・女子団体ビームライフル 26位

前田 清花(2-7)、霜里 風花(2-6)、岡村 梨央(2-4)

・男子エアライフル 中原 聡(3-2) 出場

・男子ビームライフル40発 出場

山本 凌大(2-6)、山下 光貴(3-1)、高垣 太空(2-6)、小谷 隆真(3-6)

・女子ビームライフル40発 出場

前田 清花(2-7)、霜里 風花(2-6)、岡村 梨央(2-4)

### レスリング

全国高校総体レスリング競技大会(8/1~4)

・女子74kg級 中野 咲羅(1-4) 3位

### フェンシング

第68回全国高等学校フェンシング選手権大会(8/4~7)

・男子フルーレ 竹田 大起(3-7) 70位 予選敗退

### ボクシング

全国高等学校総合体育大会ボクシング競技大会(7/27~8/2)

・男子ライト級 高嶋 拓人(3-5) 3回戦進出

### 吹奏楽

令和4年度全日本高等学校音楽コンクール(10/14~16)

・兒島 佑亮(3-4) 優秀賞(4位)

### 書道

第31回国際高校生選抜書展(2/1~5) (10月結果発表)

・団体 中国地区優勝

・個人 入江 佑香(2-2) 優秀賞

山本 志歩(2-7) 秀作賞 部員12名全員入賞

### 放送

全国高等学校総合文化祭東京大会(8/5)

・アナウンス部門 林 春那(3-7) Hブロック第2位(全国9~16位相当)

東京理科大学第13回坊っちゃん科学賞研究論文コンテスト(11/13)

・「鳥取砂丘と地下水が生んだ奇跡!~えっ、砂丘にワサビ!?~」

3年理数科 大久保幹性、但井 柊斗、竹田 大起、

田中 陽大、山本 誠晴 最優秀賞

第4回万葉の郷ととりけん高校生短歌大会(11/13)

〈チーム〉 金木屋 準優勝

・パレットに散らばる絵の具を流したら私の知らない色があふれた

岡村 梨央(2-4)

・雨音がきこえはじめるとひとり弾くいつもの曲が連弾になる

小笹 由惟(2-4)

・ふらり出る道は灯りとわたしだけ静かな夜に影が広がる

砂田 夏希(2-4)

### 野球

第104回全国高校野球選手権鳥取大会(7/9~27)

・1回戦 境 7-5 準々決勝 鳥取工業 9-8

・2回戦 岩美 3-1 準決勝 倉吉総合産業 1-7

秋季鳥取県高等学校野球大会(9/17~10/1)

・1回戦 鳥取工業 5-8

### テニス

鳥取県高校テニス新人戦東中部地区予選会(9/23~24)

・男子シングルス 岡森 弘倫(2-1) 県シード権 4位

渡邊 陽光(2-4) 県シード権 6位

加藤 奏(1-2) 県シード権 9位

鳥取県高校テニス新人戦個人の部(10/15~16)

・男子シングルス 岡森 弘倫(2-1) 3回戦進出

渡邊 陽光(2-4) 3回戦進出

加藤 奏(1-2) 3回戦進出

横山 楓成(1-4) 3回戦進出

谷口 裕隆(1-3) 3回戦進出

・男子ダブルス 渡邊 陽光(2-4)・岡森 弘倫(2-1) 3回戦進出

鳥取県高校テニス新人戦団体の部(10/29~30)

・男子団体 準々決勝進出

・女子団体 準々決勝進出

### 陸上競技

第65回高校新人陸上競技大会(9/17~18)

・男子4×100mリレー 6位

・男子4×400mリレー 7位

・男子400mH 新藤 雄大(1-6) 4位

・男子3000m S C 三谷 魁星(2-1) 8位

・男子砲丸投 新藤 雄大(1-6) 8位

・女子総合 5位

・女子4×100mリレー 4位

・女子4×400mリレー 5位

・女子三段跳 戸板 実穂(2-7) 1位 中国大会出場

・女子走幅跳 戸板 実穂(2-7) 2位 中国大会出場

・女子円盤投 衣笠 日陽(1-7) 3位 中国大会出場

・女子砲丸投 衣笠 日陽(1-7) 5位

・女子100m 前田 彩羽(1-7) 8位

・女子800m 迎山 日那(2-1) 6位

・女子800m 山根 悠歌(1-6) 7位

・女子100mH 富林 和花(1-7) 7位

第31回中国高等学校新人陸上競技対校選手権大会(10/1~2)

・女子三段跳 戸板 実穂(2-7) 2位

・女子走幅跳 戸板 実穂(2-7) 7位

第57回鳥取県高等学校総合体育大会駅伝競走(10/29~30)

・男子 7位 中国大会出場

奥田 瑞貴(1-7)、太田 咲真(2-7)、三谷 魁星(2-1)、西山 瑛紘(2-5)、

滝山 泰生(1-6)、高田 洸洋(2-6)、鈴木 聖也(1-4)

・女子 4位 中国大会出場

迎山 日那(2-1)、山根 悠歌(1-6)、戸板 実穂(2-7)、富林 和花(1-7)、

竹森 恋(1-5)

男子第64回・女子第36回中国高等学校駅伝競争大会(11/19~20)

・男子 31位

三谷 魁星(2-1)、柴田 瑛斗(2-5)、西山 瑛紘(2-5)、鈴木 聖也(1-4)、

滝山 泰生(1-6)、高田 洸洋(2-6)、太田 咲真(2-7)

・女子 24位

竹森 恋(1-5)、西垣 奈央(1-5)、戸板 実穂(2-7)、富林 和花(1-7)、

山根 悠歌(1-6)

### 水泳

第72回鳥取県高等学校新人水泳競技大会(10/2)

・男子総合 優勝

・男子200m自由形 影井 仁(2-3) 4位 中国大会出場

・男子400m自由形 影井 仁(2-3) 4位 中国大会出場

・男子100m自由形 中宇地竜登(2-3) 4位 中国大会出場

・男子200m自由形 中宇地竜登(2-3) 6位 中国大会出場

・男子100m背泳ぎ 尾崎 樹生(2-5) 3位 中国大会出場

・男子200m背泳ぎ 尾崎 樹生(2-5) 3位 中国大会出場

・男子50m自由形 澤 幸太郎(2-5) 4位 中国大会出場

・男子100mバタフライ 澤 幸太郎(2-5) 4位 中国大会出場

・男子100m自由形 川原 大和(2-7) 3位 中国大会出場

・男子200m自由形 川原 大和(2-7) 3位 中国大会出場

・男子400m自由形 草刈 優真(1-1) 2位 中国大会出場

・男子200mバタフライ 草刈 優真(1-1) 1位 中国大会出場

・男子1500m自由形 長石 駿(1-1) 2位 中国大会出場

・男子100m背泳ぎ 伊藤 孝佐(1-4) 2位 中国大会出場

・男子100m背泳ぎ 西尾 健(1-6) 4位 中国大会出場

・男子200m個人メドレー 伊藤 孝佐(1-4) 6位 中国大会出場

・男子200m平泳ぎ 谷岡 征哉(1-4) 5位 中国大会出場

・男子200m背泳ぎ 山根 一麒(1-4) 4位 中国大会出場

・男子100m自由形 梶川竜之介(1-5) 5位 中国大会出場

・男子400m自由形 秋山 駿人(1-6) 6位 中国大会出場

・男子400mメドレーリレー 2位 中国大会出場

・男子400mリレー 2位 中国大会出場

・女子総合 準優勝

・女子800m自由形 雁長のか(2-7) 3位 中国大会出場

・女子100mバタフライ 雁長のか(2-7) 4位 中国大会出場

・女子800m自由形 小谷 優奈(1-1) 2位 中国大会出場

・女子200m個人メドレー 小谷 優奈(1-1) 3位 中国大会出場

・女子200m自由形 稲田明日美(1-3) 6位 中国大会出場

・女子100mバタフライ 稲田明日美(1-3) 5位 中国大会出場

・女子100m背泳ぎ 浦木 美帆(1-4) 1位 中国大会出場

・女子200m背泳ぎ 浦木 美帆(1-4) 1位 中国大会出場

・女子100m平泳ぎ 石井 風葵(1-6) 3位 中国大会出場

・女子200m平泳ぎ 石井 風葵(1-6) 3位 中国大会出場

・女子400mメドレーリレー 2位 中国大会出場

・女子400mリレー 2位 中国大会出場

第10回中国高等学校新人水泳競技選手権大会(10/22~23)

・女子100m背泳ぎ 浦木 美帆(1-4) 8位

### バスケットボール

第75回全国高等学校バスケットボール選手権大会鳥取県予選会(10/28~11/3)

・男子 3位 優秀選手賞 大崎 仁(2-6)

・女子 3位 優秀選手賞 玉野 愛佳(2-4)

### バレーボール

第75回全日本バレーボール高等学校選手権大会鳥取県大会(11/5~6)

・男子 1回戦敗退

・女子 2回戦進出

### 卓球

鳥取県高等学校卓球新人戦大会東部地区予選会(10/29~30)

・男子団体 4位

第59回鳥取県高等学校卓球新人戦大会(11/11~13)

・全国選抜大会2部(女子シングルス)予選 葦山 菜月(1-4) 2位





## エール

二年 保護者

うちの長男も皆さんの子どもさんと同様に思春期に突入り、毎日忙しい高校生活に追われています。

## 『全力』との両立

二年 保護者 太田亜希子

仕事と家庭、お金と時間、スポーツと勉強、オンとオフ。両方満点は無理でも相応の両立なら幸福感・心の余裕が増える。私は思う。息子が陸上競技と将来の両立を目指し三兎を得るため選んだ東高。たくさんの人に出会い友に恵まれたものの、飽き飽きするほど不自由なコロナ禍で思い描いた高校生活とは違うであらう。

陸上は良くも悪くも今の自分がキツチリ数値で出る。息子が競技を始めるまでこんなシビアなメンタルスポーツだとは思わなかった。どんな不調の時でも、参加することに意義があるなんてかっこ悪い奴にはなりたくない、と臨む全力少年。競技の楽しさ・陸上を通して広がる人間関係が充実して、良きライバルがいて意識するからこそ頑張れているのだとよくわかる。それは大学受験においても同じだろう。臨む環境が高にあり、時代の不自由な苛立ちながらも、不器用だけど好きなものを好きと言え将来に向かって努力を惜しまない、そんな君を尊敬し頼りに思う。

だが母は君に人生でまだまだ色んな不自由を味わってほしい。おそらく本場の意味での両立とは、不自由な中でも現状のベストで向かい、周りへの感謝と思いやりの関係が築けて初めてできる事。その中に全力があればさらに得る経験も大きいだろう。一つ一つ乗り越え遅く成長した笑顔、母はそれが見たい。

人生を楽しむ大人の根本であるよう、母はこれからも全力があちゃんदैいたいと思う。

## Independence and autonomy

二年 保護者

先日久しぶりに甥が訪ねて来ました。

「バイトの時間まで暇だけだ」息子と一つ違いの従兄です。私の中では保育園当時のままでしたが、その甥も18歳！バイトの話も聞いてみると大人との会話を楽しんでいるようでオセになったと感じていました。今年から成人年齢が18歳に引下げられ、高校三年生の間に成人

になるのだ。同時に「自立と自律」ということを考えました。来年度我が子が成人？大丈夫かな？自分の力でやって行ける？自分の言動や行動に責任持てるかな？など、親としてはまだまだ心配で危なっかしな思いますが、高校生活の中で自分のペースで成長してくれるだろうと願うしか出来ないです。

二年前の今頃は、部活引退後も続けていたスポーツと勉強の日々で疲れ切った身体で眠くなりながらも、春に桜が咲くことを信じて塾に通っていました。塾の送迎の合間に仮眠するぐらい頑張つて東高に合格して、塾の先生とも一緒に喜んだ事を今でも思い出します。その高校生活も折り返し地点を過ぎ将来を考へる時期になりました。学習と部活の両立、未だ続くコロナ禍など色々制限があり大変です。大学受験は高校受験よりも大変と聞きますが、私達はいつでも貴方を全力でサポートします。貴方ならきっと乗り越える！何事も諦めたらそこで試合終了ですよ。

息子へ。backnumberの曲に「自分の背中には見えないのだから恥ずかしがらず人に尋ねるといい、心は誰にもみえないものだから見えるものよりも大事にする」という歌詞があります。これからの生活の中で様々な事を学び、それらを自分の糧にしていってほしい。また貴方を支えてくださる方々への感謝の気持ちを忘れず、自分を信じて真っ直ぐな大人になってください。いつも応援しています。

## 友

二年 保護者

高校生活もあつという間に二年生となりました。息子は念願の東高に入学してバスケット部に入学し、三兎を追う三兎を得る高校生活を送っています。

今の学生達は中学生の頃から色々な行事や活動が思うように出来ない、いつ止められてしまうかわからない毎日を経験してきました。

入部して今日までも、大会の中止や無

観客試合と悔しい気持ちをバネにすることで、大好きなバスケットを大切な仲間と一緒に努力し日々活動しています。そんな子どもたちを親としては見守る事しか出来ないのですが。

部員メンバーは小・中学校ではライバルでした。何度も戦ってきた子どもたちが今は一緒に戦っていくチームメイトとなり、日々切磋琢磨に努めています。こんな風に出会って色んな思いを共有し、繋がれた絆は大切な一生の宝となるでしょう。

保護者同士も子どもたちをただただ応援したい思いで繋がって、限られた時間の中で楽しくさせてもらっています。ありがとうございます。

残りの高校生活も思いっきり楽しんで！ずっと見守っています。

## 出会いと感謝の気持ちを大切に

二年 保護者

あつという間に二年生。高校生活も折り返し地点を通過しました。高校生活は、コロナ禍の真つただ中様々なことが延期であったり、中止であったり、規模縮小であったり、我慢せざるを得ないことも多く、思い描いていたような高校生活ではないかもしれません。でも、だからこそ、何かを実現できた時の喜びは、ひとしおのようです。

10月には、念願の研修旅行にも行くことが出来ました。二日目の班別研修では、「どこに行こうか。どんなことをしようか。どういうルートで行くか」というのかと友達と計画していることを楽しそうに話してくれていました。そして実際に行くことが出来、帰ってから楽しそうに嬉しそうにいろいろな話をしてくれました。素敵な大切な思い出が出来たようです。そんな姿を見ていると、こちらも嬉しい気持ちと実現できたことへの感謝の気持ちとでいっぱいになりました。

高校に入り、これまで以上にたくさんの人達と出会い、たくさんの方のことを経験し、いろいろなことを感じ、吸収してい

ることと思います。まだまだ将来については、悩んでいることも多い娘ですが、今までの出会い、そしてこれからの出会いを大切に、また感謝の気持ちを忘れずに、未来へと歩んでいってほしいと思っています。

## 今を生きる

二年 保護者 戸板 ゆき

気がつけば、高校生活も折り返し地点を過ぎました。二年生になるにあたっては、科目数が増えることや部活動の世代交代など、期待より不安の方が大きいスタートでした。新型コロナウイルスの感染拡大により、夏休み明けには屋久島への研修旅行の中止も決まりました。去年のスキー研修に続く大きな行事の中止に、一時はかなり落ち込んでいたようでした。

けれども、この半年を振り返ってみれば、数々の部活動の大会にも参加でき、仲間と共に泣き、笑い、充実した時を過ごしました。また学校祭や研修旅行も、変更はありませんが無事に行われ、準備から本番を通して、友人や仲間との絆は確実に深まったようでした。コロナ禍だからこそ、未知の経験と新たな出会いにあふれた「学校」という場所のありがたさを改めて感じるところです。

もし、新型コロナウイルスの影響が無ければ、どんな高校生活だったろうか？と思うこともありますが、制限のある日々の中でも、娘は常に前向き、毎日全力で高校生活を満喫しているようです。クタクタになって帰ってきた娘から「今日の面白かった事」を聞くのが、私にとっては何より楽しく、幸せなひとときです。今できることを精一杯楽しんで、未来に希望を持って進んで行つて欲しいと思います。

鳥取東高通信191号に写真、原稿等でご協力いただいたみなさまに、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。文化広報部一同